



酒井雄哉先生

(さかい ゆうさい、1926年(大正15年)9月5日 - 2013年(平成25年)9月23日) は天台宗の僧侶。比叡山延暦寺の千日回峰行を2度満行した行者として知られる。天台宗北嶺大行満大阿闍梨、大僧正、比叡山一山飯室不動堂長寿院住職を務めた。

経歴

◆海軍入隊から得度まで

大阪市玉造生まれ。旧制中学卒業後、昭和16年(1941年)慶應義塾商業学校(慶應義塾大学の夜間商業学校)に入学。落第生で卒業が危ぶまれたため、慶應義塾の教授に薦められ、昭和19年(1944年)、熊本県人吉の予科練に入隊した。そこで半年間の訓練を受けた後、宮崎の宮崎海軍航空隊(後の松島海軍航空隊、陸上攻撃機)所属を経て、鹿児島県の鹿屋飛行場に移る。特別攻撃隊員として終戦を迎えた。戦後は図書館職員を諸事情により職場放棄、ラーメン屋を開業するが火事で廃業、株売りの代理店を始めるが大暴落で1億円の負債を抱え借金取りに追われ、そば屋の店員、菓子店のセールスマンなど職を転々とする。33歳のとき結婚するが、結婚早々奥さんが大阪の実家に帰ってしまったため、連れ戻そうと迎えに行ったことがきっかけで妻が自殺してしまうという事件があり、ショックを受けて以後抜け殻のような生活を送る。そのことがきっかけで39歳のとき得度し比叡山延暦寺に入る。千日回峰行に挑む前には、明治時代に死者が出て以来中断していた「常行三昧」という厳しい行を達成。

◆千日回峰行

1973年(昭和48年)より千日回峰行を開始し、1980年(昭和55年)10月に満行した。この行の様子は1979年(昭和54年)1月5日、NHK特集『行～比叡山・千日回峰～』で放送された。しかし酒井はこれに満足せず、半年後に2度目の千日回峰行に入った。そして、1987年(昭和62年)7月、60歳という最高齢で2度目の満行を達成した。2度の回峰行を達成したものは1000年を越える比叡山の歴史の中でも3人しかいない。

◆その後

1990年(平成2年)、15年ぶりに下山。厳しい護摩供のほか国内各地、中国五台山、エジプト・シナイ山などを巡礼。1995年(平成7年)にはバチカンでローマ法王ヨハネ・パウロ2世にも謁見している。同年、仏教伝道文化賞(功労賞)受賞。晩年は、比叡山麓の飯室谷不動堂に住み活動した。2008年(平成20年)にはエジプトを訪問した。2013年(平成25年)、心不全のため死去。87歳。

※上記はウィキペディアより引用

三井住友海上 大阪中央支店 主催 運営協力 (株) リグア 光洋キャピタル(株)
アルファクリエイト(株)

大阿闍梨 酒井雄哉師 特別講演のご案内

～ 心の便り 一日が一生の世界 ～

三井住友海上 大阪中央支店では、経営者の皆様の大切な経営に関する情報提供を定期的に行っております。今回、荒行中の荒行である比叡山千日回峰行を二回行なった行者として知られている、天台宗大阿闍梨、権大僧正の酒井 雄哉師に、この混迷の時代、出口の見えない不況の中で、経営の原点から人間としての生き方の指針やヒントなど、心に響くお話をご講演頂くこととなりました。

※応募多数の場合は抽選とし、当選者様へのご連絡は受講のご案内をもって代えさせていただきます。

講師ご紹介

■ 講師:比叡山飯室谷不動堂長寿院住職 酒井 雄哉(ゆうさい) 師



講師プロフィール

1926年、大阪(玉造)に生まれ。太平洋戦争時、戦時予科練へ志願し、鹿屋にて終戦、戦後職を転々とするが、いずれも上手にいかず、叔母の進めもあって比叡山へ上がりご縁あって小寺文頼師の弟子となり、四十歳で得度をする。昭和四十六年より、三年籠山に入り、昭和四十九年に満行。住職を拝命される。四十九歳で箱崎文応阿闍梨に転師、昭和五十年四月千日回峰行に出峯、満行後にさらにその半年後、二千日回峯へと行を断行。比叡山の歴史で過去二千日回峯を満行は歴史的文献からしても四百年間の中で、三人しかいない仏行者。



千日回峰行について (酒井 雄哉 師ホームページより)

天台宗独特の不動明王と一体となるための厳しい修行。行者は、蓮の葉を象った桧笠をいただき、白装束に草鞋ばき、死出紐と宝剣を腰に、もし行半ばで挫折すれば自ら生命を絶つ掟のもとに、1年目から3年目は比叡山中255箇所を巡拝する行程約40キロを休まず各百日間、4年目と5年目はそれぞれ連続200日、計700日の回峰をする。700日終了の後9日間不眠・不臥・断食・断水で不動明王と一体になる「堂入り」の行を満じる。

6年目は京都市内赤山禅院往復が加わる一日約60キロの行程を百日、7年目は前半100日を僧坊を出て京都市内寺社を巡拝往復する一日84キロの「京都大廻り」、後半100日を山中約30キロを行歩する。7年間で合計1,000日を回峰し「満行」とする厳しい修行である。1,000日で歩く距離は約4万キロ、地球を一周するに等しい距離になる。

※堂入り:千日回峰行を目指す行者は700日の回峰を満じた後、不動堂に籠もり9日間、不眠・不臥・断食・断水で十万遍の不動真言を唱え、不動明王と一体になる行を満じる。生きたまま出堂できるかわからぬため、親族、一山の僧と別れの儀式をして籠もる「生き葬式」と言われる大変過酷な行。

※酒井大行満大阿闍梨の回峯行の解説:酒井師が行った飯室谷回峯行はあまりの厳しさ上、江戸中期以後長く中断されていたが、1980年酒井師によって復興した。酒井師は「無始無終」始めもなければ終わりもないといい、比叡山中の高低差の激しい行に挑んだ。雨の日、風の日、雪の日も、休むことなく一日40キロ以上、京都大廻りになると80キロとさらに厳しい行程の行を満行した。

北嶺回峯二千日を昭和六十二年に満行した。

■ 日時 : 平成21年3月6日(金) 14:00~15:40 (13:30開場)

(プログラム) 開会挨拶 14:00~14:10 ご講演 14:10~15:40

■ 場所 : 社団法人 大阪倶楽部 大ホール
【住所】大阪市中央区今橋 4-4-11 (別紙 地図のとおりです)

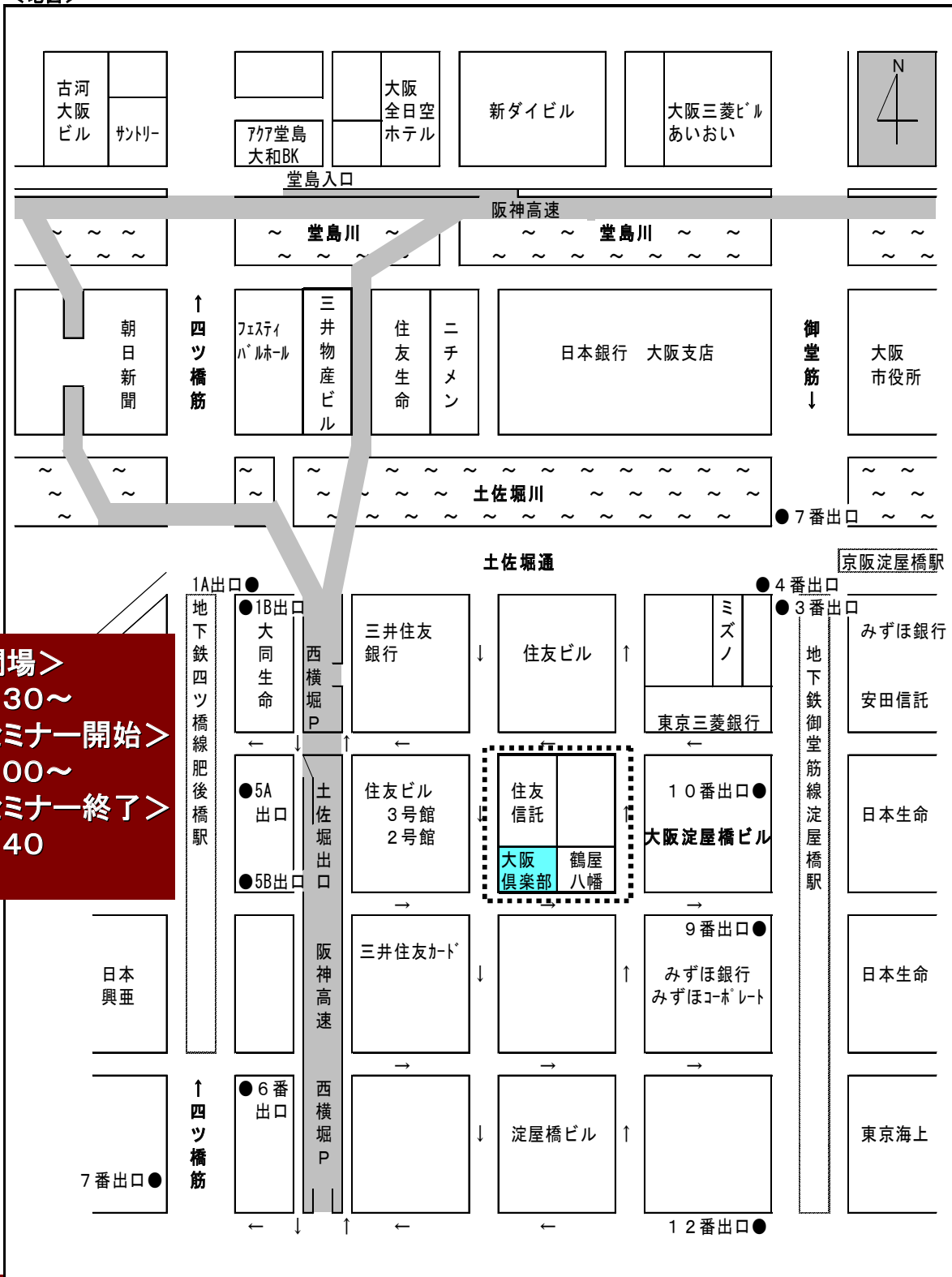
■ 参加費 : お一人 3,000円 参加費については当日会場でお支払いください。

■ 定員 : 250名

■ 申込み : 申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

■ 申込締切 : 平成21年2月8日(金)

<地図>



【場所】 社団法人 大阪倶楽部 大ホール 大阪市中央区今橋 4-4-11

<ご連絡先> 三井住友海上火災保険(株) 大阪中央支店枚方第一支社営推チーム TEL:072-844-2231

【最寄り駅】 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅 9番・10番 出口

京阪本線淀屋橋駅から徒歩5分、地下鉄四ツ橋線肥後橋駅から徒歩5分

地下鉄堺筋線北浜駅から徒歩10分

※セミナー受付にて、参加費をご準備の上、参加票をご提示ください。

【ご注意】

・専用駐車場がございませんので、ご来場の際は電車をご利用願います。

・会場へはお早めにお越し下さいませ。